

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

特定非営利活動法人かながわアドバンスサポート

② 施設・事業所情報

名称：社会福祉法人尚徳福祉会 保育園川崎ベアーズ	種別：保育所
代表者氏名：山添 好子	定員（利用人数）： 60 名
所在地：川崎市川崎区大島上町22-12	
TEL：044-589-7545	ホームページ：尚徳福祉会
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 2018年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人尚徳福祉会	
職員数	常勤職員： 13 名 非常勤職員 2 名
専門職員	園長 1 名 主任 1 名 保育士 13 名 看護師 1 名 栄養士（調理員） 3 名
施設・設備の概要	保育室 6 室 一時保育室・調理室 調乳室/沐浴室・相談室 多目的ホール 各1 室 園庭 157 平米

③ 理念・基本方針

保育理念、方針、目標

児童福祉法、子ども・子育て支援法、その他関係法令等を遵守し、保育所保育指針及び保育計画に沿って、乳幼児の発達に必要な保育・教育を提供します。

子ども達の事を第一に考えた保育を行い、登園を楽しみにし、保護者が安心して預けられることが、子どもたちの心の安定となり、健全な発達につながると考えます。

また自己決定のできる子どもに育つよう、自由に考え、行動出来る環境を配慮します。自分で考え、工夫して遊べるように、自由な空間や考えて遊ぶ玩具の提供を心掛け、強制や押し付けをせず、禁止言葉を少なくするようにしていきます。

■保育理念

子どもたちの健やかな育成の手助けをします。子どもたちの健康と安全を確保し、安定した心で自己発揮のできる場を提供し、子どもの育ちを見守ります。また、家庭と協力し、自己肯定感を育みながら、感情の抑制のできる健全で豊かな人間性をもった子どもの育ちを援助します。

■保育方針

* 快適な環境の中で、園と家庭との一貫したリズムで、気持ちよく過ごす。

* 一人一人の子どもの気持ちを十分に受け止め、愛情行動や信頼関係を育みながら、月齢・発育段階に応じた、人や物への関心や関わりが広がるようにする。

* ゆったりとした環境のもと、自然とのふれあいを大事にしながら、友だちとの関わりの中で遊ぶ楽しさを味わい、ルールを覚え、意欲が育つように援助する。

* 楽しみながら、ちからいっぱいからだを動かして遊ぶようにする。

■保育目標

・子どもは豊かに伸びていく可能性を秘めており、現在を最もよく生き、望ましい未来をつくり出す力の基礎を培う。

・心身共に健全で安定した生活を保つことができるように、配慮された環境、雰囲気を整え、子どもたちが自らの様々な欲求を適切に満たすことができること。

・子どもたちが自ら考え、判断し、主張し、行動できるように、ハード、ソフト両面で保育環境を整えていくこと。

・社会生活に必要な基本的な習慣や態度を養い、心身の健康の基礎を培うこと。

集団生活の中で人に対する愛情と信頼感、そして人権を大切にすることを育て、自主自立、協調の態度を養い、道徳性の芽生えを培うこと。

・自然や社会の事象についての興味や関心を育て、それらに対する豊かな心情や思考力の基礎を培うこと。

・生活の中で、言葉への興味や関心を育て、表現する力、表現する喜び、人のいうことを謙虚に聞き、理解する態度を養うこと。

・幅広い世代の人々や社会・地域との交わりの中で、多くの体験を通して、豊かな感性を育て、考える喜びを体験させること。

■めざす子ども像

1、いきいきと遊べる子ども

2、考える子ども

3、心豊かなやさしい子ども

④ 施設・事業所の特徴的な取組

【立地および施設の概要】

本園はJR京浜東北線川崎駅 京浜急行電鉄京浜川崎駅から駅前の臨港バス<川22、23番乗り場>で10分「追分」下車、徒歩9分、鋼管通りから10M入った住宅地に建つ新築間もないベージュ色鉄骨造り2階建ての建物です。敷地601平米、延べ床面積589平米、定員60名の中規模保育園です。

2018年4月社会福祉法人尚徳福社会<本社鳥取県米子市・理事長谷本要>により開園しました。当園を運営する社会福祉法人尚徳福社会は平成8年に設立認可を受け、病児保育施設「病児看護センターベアーズデイサービス」および、認可保育園「保育園ベアーズ」（現認定こども園ベアーズ）を開設。現在は保育園を神奈川県で8園、東京都11園、そのほか老健など運営しています。

本園「保育園川崎ベアーズ」の名称であるベアーズとは同法人が新たに新規開園した保育園につける名前です。東京都や川崎市、横浜市から当法人が民間移管で受けた保育園はその当時公立時代の名称をそのまま引き継いだ名称の保育園です。

園玄関の入り口や金網には防犯カメラ3台、保育室などには全方向カメラ13台がつけられ、事務室の大型スクリーンで見ることができ24時間録画可能です。保育室は各クラスの独立部屋で、相談室、一時保育室、多目的ホール、沐浴室、職員更衣室、事務室<医療室含む>などあり、木造のバリアフリー仕様です。園庭が広く157平米あり、夏は地域の子どもたちに「水遊び」として連日開放し、地域の子育てに貢献しています。開所時間は7時から20時までです。

{園の特徴}

- 尚徳福社会は大規模な社会福祉法人です。東京に11保育所、神奈川県に8保育所を経営しています。本園は同法人が新規開園した定員60名の保育園です。園舎はベージュ色の新築で園長は横浜の生麦保育園から着任している新人園長で、保育にかける情熱は十分すぎるほどあり、園児の登園をガラス越しに見守っています。

- 事故防止には特に留意しており、散歩に行く前には必ずカメラで撮影しています。万一行方不明になった時の子どもの姿を残しておくためです。リスク管理をここまで行う保育園はめずらしいのです。また子どもに対して決して大きな声、きつい声を出さない方針が徹底されています。保育士にボイスレコーダーを持たせ、自分が子どもに対して発した言葉、イントネーションを後に自分で再生してみても改めるという自戒の方法をとっています。子ども第一主義の現れです。

- 「えいごであそぼう」のカリキュラムを2歳から外国人英語教師が月2回ずつ行っています。英会話は、幼児時代に聴いた発音が大人になっても覚えているという英語習得の原則に従って、子どもに教えているのです。毎回短時間ですがグローバル時代への対応を少しずつ積み重ねています。

- 本園のホームページはバラエティに富み、園生活の様子が手に取るようにわかる工夫がなされています。園だより、クラスだより、給食、健康など、園から配布される文書がそのまま月2回アップされています。クラスだよりは担任が書きます。活動している写真を見るには個人情報のためパスワードが必要です。医者である理事長が書く子どもの様子や病気のことを沢山読むことができます。

⑤

評価実施期間	2022年8月20日（契約日） ～ 2023年1月22日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1回目

⑥ 総評

◇特に評価の高い点

1. コロナ禍のなか運動会を開催、大喝采を浴び、良い思い出として残る

コロナ禍で感染拡大防止のため一堂に会してのイベントが中止になる中、政府の緩和策を利用して本園の「運動会」が10月1日田島小学校体育館で行われました。

日頃の遊びや活動の成果を保護者に見せる機会がなかったが3年ぶりの運動会を乳児と幼児にわけた2部制で行い、保護者の大喝采を浴びています。

・その模様は園日より「うんどう会まとめ」1部と2部で特集され、保護者へ配布されています。ダンス、リレーなどに参加した子どもの保護者のほぼ全員から、感謝と子どもの成長を喜ぶ声が出ています。待ち焦がれた運動会を一致協力して盛り上げ、見事にこなしたわが子の成長ぶりを、喜びとうれし涙で綴っています。良い思い出作りができています。

2 シーパラでの水族館見学、特大の模造紙2枚で思い出作り

京浜急行・金沢八景にあるシーパラダイス水族館にバス旅行（費用は法人負担）で、幼児全員で10月21日に見学した。1か月前位から期待を込めて各クラスに大きな模造紙2枚に魚の絵を紙で形づくったり、クレヨンで絵を書いたものを張り付けています。2階に上がる踊り場全部を使い、海をイメージしたブルーの色紙で縁取りした大きな絵は目立ちます。いろいろな魚を画用紙で描いたり、紙で魚の形を作ったり、自由に描くことで自分を表現しようとしています。この絵を見るたびに水族館見学の楽しかった出来事を思い出し、幼いころの記憶として残ってゆくに違いないと保護者はコメントしています。

3 事故防止のために 万全の備えをしています

リスクマネジメントの対象は、園内での園児の事故予防と散歩に行く際の事故予防です。園内で処置できるケガは、各クラスに常備してある「怪我チェック表」に記載されます。各クラスに管理されているのが特長です。本法人の理事長が医師であり、後に後遺症がでてくるのを避けるため、病院への受診を勧めています。常勤の看護師のアドバイスもあり、子どものためを考え受診させています。病院受診するケガは「事故報告書」に記載されます。

・安全管理・事故防止・対応マニュアルは完備しており、「子どもの発達過程に伴う危険度及び配慮」で各クラスの担任は、事故予測の知識を習得しています。

散歩の前に必ず写真撮影をし、子どもの着衣の色など行方不明になった時のための記録を怠りません。子どもの見失い・怪我・病気については、常に職員に事例をもとに園内研修を行い、万全の備えをしているのです。

期待される点。

1 3名いる発達相談支援コーディネーターの活用を

本園には発達相談支援コーディネーターの資格者が3名在籍しています。増加する発達障害児でどの保育所も対応を苦心しており、この種の資格研修はどこも満員で容易に受けることができない状況です。貴重な人材を活用して個別相談に応じる、コーディネーターはグループを作り発信を始めるなどにより社会貢献に期待します。

⑦ 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

第三者評価に対する施設・事業所のコメント

本園は開園5年目になります。

法人としては神奈川県内で唯一の移管園でない法人開設の新しい園として2018年4月にオープンしました。「いきいきと遊べる子ども」「考える子ども」「心豊かなやさしい子ども」を園目標に主体性を大切にした保育を目指しています。最近では保護者や地域の方々との信頼関係も築くことができた実感しています。

今回第三者評価を受審したことで園運営を振り返ることができ、今後の課題に気付く良い機会になりました。全職員が自分の保育を見直し、運営方針や保育理念を改め理解できたと思います。今後は保育の質の向上に繋げていけるよう努めていきます。

さらに地域の方々や関係機関と連携を深めながら、定員60名という中規模園の利点をいかして、園児一人一人を全職員で見守っていけるあたたかい保育園を目指していきたいと思ひます。

最後に、お忙しいところ利用者調査にご協力いただきました保護者の皆様、ご指導いただきました評価機関の皆様に感謝申し上げます。

社会福祉法人 尚徳福祉会

保育園川崎ベアーズ園長 山添好子

職員一同

⑧ 第三者評価結果

別紙2のとおり